

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分	事業の内容	
公益目的事業	公1	<p>&lt;講座、セミナー、育成事業&gt;                      包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業                      (管理士講座、アカデミー、セミナー、コース、研究会、フォーラム、研究大会、懇話会)                      *支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
	公1	<p>&lt;体験活動交流等事業&gt;                      包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業                      (海外視察団、見学会)</p>
	公1	<p>&lt;表彰、コンクール事業&gt;                      包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される                      (パッケージングコンテスト、木下賞)</p>
	公2	<p>&lt;展示会、ショー事業&gt;                      包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業                      (東京国際包装展、暮らしの包装商品展)</p>
公3	<p>&lt;調査、資料収集事業&gt;                      委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となつて一般に公表される                      (ISOに関する活動、JISに関する活動、統計)</p>	
収益事業	収1	<p>&lt;出版事業&gt;                      毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行</p>

\*その他行事：総会、新年会等

# 平成28年度事業報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日まで

昨年は、デフレ脱却と経済再生を確実に実現するため、官民の連携した取組みを通して、緩やかながらも経済の好循環が見られたが、熊本地域を襲った地震、大型台風や記録的な豪雨など自然の脅威に驚かされた年であった。本年は、本格的な災害復旧・復興事業の加速化と共に、内閣が提唱する「経済最優先」への取組みを強化する一方、未来への投資を実現する経済対策を早急に具体化し、官民一体となって迅速かつ着実に実行していかねばならない年である。

このような情勢の中で、包装分野では近未来を見据えて、一層の高度化、多様化そしてグローバル化等に適切に対応していくことが求められている。特に、今、世界的なトレンドとして、品質、衛生、安全そして環境が重要なキーワードとなっており、包装分野においても品質保証、食品安全、労働安全衛生及び環境に対して各々のマネジメントシステムが浸透して、今後もますますこのようなシステムの高度化が期待されている。他方、社会のグローバル化が進む中、包装業界においてもこれからますます海外とのつながりを意識した展開が必要になってくると思われる。

このように包装分野においても大きな変化が感じられる状況の中で、当会の事業は概ね年度活動方針および事業計画に沿って実施された。当会の主要公益目的事業の一つであり、協会の柱となっている包装人材育成事業（管理士講座、包装アカデミー講座、等）や情報提供事業は、本年度も当初計画通りの成果をあげることができた。特に、包装管理士講座は当初の募集定員枠を増やし、417名の受講生を得て札幌、仙台、東京、名古屋、大阪及び福岡の6都市で開催された。半世紀を経て、包装管理士有資格者は13,073名となった。また、包装アカデミー講座は今期もまた輸送包装、食品包装、医薬品包装及び包装材料の4コースが開講されたが、昨年度の食品包装コースに続き、今期は輸送包装コースと包装材料コースが第30期という節目を迎え開催された。包装アカデミー講座は59名の受講者数を得て実施された。

また、今年度最大の事業、東京国際包装展（TOKYO PACK 2016）を10月4日から7日までの4日間、東京ビッグサイトの東館全館を使用して開催した。出展者数は669企業・団体で、来場者数は内外から18万4千余人を記録した。1966年に第1回が開催されて以来、隔年に開催され、本年は50年目という大きな節目での開催となった。今回も世界を代表する国際包装展に相応しい展示内容と運営を図り、包装を通して社会生活の向上に寄与すると共に、国際相互の理解を促進できる大きな機会となった。

今年度の法人会員は、入会65社、退会38社で、年度末会員数は1,017社。個人会員は入会14名、退会27名で年度末個人会員数は160名であった。

公益社団法人として活動を始め、11月1日で5年が経過した。今後も適正包装の推進や人材育成の強化等、公益事業の実施に対して一層の英知と努力を傾注し、豊かな社会の構築と活力ある包装産業の実現を目指して邁進したい。

## 第1 事 業

### 1. 研修、育成、交流事業、普及啓発 (公益目的事業 1)

当会の主要事業の一つである人材育成事業は、本年度もまた当初計画以上の成果を得て開催することができた。第51期の包装管理士講座は、今回もまた開講から終講までおよそ3ヶ月という長期の講座にもかかわらず、417名の参加者を得て、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪及び福岡の6会場で当協会支部の支援のもとに開催した。受講生は全員、講義一筆記試験一面接試験という講座の過程を経て、408名(前期からの再受講者13名を含む)が合格し、包装管理士の称号を授与された。また、包装管理士講座の上位部に位置する包装アカデミー講座も今までで最も多くの受講生を得て実施され、全課程を修了した57名があらたに包装専士として認定された。他に、専門コース、セミナー、シンポジウム、講演会等、教育にかかわる事業は各支部のもとで開催され、概ね盛況裏に開催することができた。

包装の普及啓発を目的として開催しているパッケージングコンテストは、本年度、第38回目の開催となり、400点以上の応募の中から大賞(ジャパンスター賞)として13点が選ばれた。本コンテストの最大の特徴は、審査員は、全員が経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はないことである。入賞したパッケージはすべて、10月に東京ビッグサイトにて開催した「TOKYO PACK 2016」展において一般公開された他、和英文併記による写真付き商品説明小冊子を作成し、国内及び全世界に広報を行った。

交流事業は、海外事業として11月に米国・シカゴで開催された世界を代表する国際包装展・パックエクスポ・インターナショナル展に視察団を派遣した他、JETRO等の政府関連機関からの要請により専門家の派遣を行った。また10月に開催したTOKYO PACK 2016展に海外から多くの出展者や来場者があり、各々の要請のもと交流活動を行った。

協会創立以来一度も欠かしたことなく開催している全日本包装技術研究大会は、第54回目の開催となり京都で開催した。全国から450名が参加し、地方で開催するイベントとしては大盛況であった。

### <研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第51期包装管理士講座	6月1日(水)開講	～	9月9日(金)終講
受講者 417名	合格者 408名	(前期からの再受講者13名を含む)	
合格者内訳	東京会場 195名	大阪会場	68名
	名古屋会場 79名	福岡会場	37名
	仙台会場 14名	札幌会場	15名

以上の結果、包装管理士有資格者は13,073名となった。

2) 包装アカデミー講座	6月6日(月)開講	～	3月3日(金)終講
(1) 第30期輸送包装コース	受講者 8名	合格者	8名
(2) 第31期食品包装コース	同 15名	同	14名

(3) 第30期包装材料コース	同	18名	同	17名
(4) 第29期医薬品包装コース	同	18名	同	18名
	計	59名		57名

今期は57名が合格し、包装専士の称号が与えられた。これで包装専士有資格者は1,238名となった。

- 3) 第54回全日本包装技術研究大会 参加者450名  
 11月29日(火)～30日(水) 2日間 京都市・国立京都国際会館  
 輸送包装、生活者包装、食品包装、医薬品・医療機器包装、化粧品包装、電気機器包装、包装資材、パッケージデザイン、及び環境包装の9部会に78件の発表があった。

<特別講演>

『日本における科学技術イノベーション』

特定国立研究開発法人理化学研究所 理事長 松本 紘 氏

- 4) 研究会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) 機能別包装研究会

①包装資材研究会

第212回 8月25日(木) JPI 会議室 参加者95名

『特許を仲の良い友達にするために』

ゼロ研技術士事務所 代表 大森 弘一郎 氏

第213回 11月24日(木) JPI 会議室 参加者57名

『美粧段ボールによる包装改善』

(株)クラウン・パッケージ 社長付 研究開発室室長 全社デザイン統括 八木野 徹 氏

第214回 2月23日(木) JPI 会議室 参加者88名

『高分子分析の基礎と材料分析の実際』

(株)三井化学分析センター 営業統括部営業企画室企画開発担当部長 広瀬 敏行 氏

第215回 2月23日(木) JPI 会議室 参加者105名

『PET ボトルの基礎と技術動向』

三菱樹脂(株) 食品包装事業部 グループマネージャー 鮫島 拓也 氏

第216回 3月23日(木) JPI 会議室 参加者80名

『海外展示会(K2016等)にみる包装関連情報とトピックス、及び、海外の包装事例紹介』

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 技術総括部部長 松田 修成 氏

## ②輸送包装研究会

第210回 5月26日(木) JPI会議室 参加者97名  
『精密電子機器部品における輸送包装の事例』  
(株)日立システムズ 保守事業推進本部 ロジスティクスセンタ  
サービスマネジメントグループ 高橋 二郎 氏

第211回 11月24日(木) JPI会議室 参加者66名  
『緩衝包装設計の基礎と落下シミュレーション(PAOSS™)を用いた設計事例』  
旭化成(株) 樹脂製品事業部フォーム製品営業部設計ソリューション Gr.長 高田 幹生 氏

第212回 1月26日(木) JPI会議室 参加者74名  
『ミャンマー・東西経済回廊 最新物流事情』  
三井住友海上火災保険(株) 海損部海外企画チーム課長代理 嶋田 隆二 氏  
三井住友海上火災保険(株) 海損部海外企画チーム主任 畑野 太郎 氏

第213回 1月26日(木) JPI会議室 参加者71名  
『モーダルシフト展開と動向(JR貨物の輸送環境解析)』  
日本貨物鉄道(株) 鉄道ロジスティクス本部 営業統括部 営業部  
国際営業グループ 倉庫・商社グループ・グループリーダー 山路 大祐 氏  
(株)日立物流 営業開発本部 ロジスティクスソリューション開発本部  
ロジスティクステクノロジー部・主任技師 秋山 幸章 氏

第214回 3月23日(木) JPI会議室 参加者63名  
『空港内オペレーションの実態』  
エクサーチ(株) 代表取締役 高木 雅広 氏

## ③包装ラインシステム化研究会

第210回 6月29日(水) JPI会議室 参加者85名  
『Shibuya Aseptic Technology』  
澁谷工業(株) プラント生産統轄本部 専務取締役本部長 中 俊明 氏

第211回 8月25日(木) JPI会議室 参加者81名  
『ファナックロボットの最新技術』  
ファナック(株) ロボット事業本部 技師長 滝澤 克俊 氏

第212回 10月27日(木) JPI会議室 参加者99名  
『Micvac 製法によるチルド惣菜のロングライフ化技術』  
大日本印刷(株) 包装事業部システム開発本部1部 串岡 宏一 氏

第213回 12月15日(木) JPI会議室 参加者63名  
『コンベアー型ライン HEAD を搭載したプリンタと包装機械との連携』  
(株)ニューマインド 代表取締役社長 佐藤 東一 氏

第214回 3月23日(木) JPI会議室 参加者80名  
『分包機と包装システムについて』  
(株)東陽機械製作所 営業部東日本営業課 佐々木 将一 氏

④生活者包装研究会

第212回 4月27日(水) JPI会議室 参加者117名  
『「わかりやすい」デザインとは』  
(一社)ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 事務局長 三村 一夫 氏

第213回 4月27日(水) JPI会議室 参加者130名  
『アジアにおけるコンビニ中食の実状』  
伊藤忠プラスチック(株) 包材第二本部開発・デザイン部長代行 佐藤 久朗 氏

第214回 7月21日(木) JPI会議室 参加者124名  
『ハラル認証と食品包装資材』  
(株)フードテクニカル・ラボ 代表取締役 伊藤 健 氏

第215回 9月20日(火) JPI会議室 参加者81名  
『スマイルケア食の取組について』  
農林水産省 食料産業局食品製造課長 神井 弘之 氏

第216回 10月27日(木) JPI会議室 参加者125名  
『グリーンポリエチレンを中心としたバイオプラスチックの動向について』  
双日プラネット(株) 包装資材本部グリーンプロジェクト担当課長 大八木 潤 氏

⑤包装情報研究会

第90回 5月26日(木) JPI会議室 参加者106名  
『容器包装リサイクル制度見直しのゆくえ』  
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事企画広報部長 木野 正則 氏

第91回 6月29日(水) JPI会議室 参加者104名  
『消費者が注目するパッケージとは?アイトラッキング(視線計測)から消費者の無意識を探る』  
トビー・テクノロジー(株) 代表取締役社長 蜂巢 健一 氏

第92回 7月21日(木) JPI会議室 参加者79名  
『資源効率・循環経済政策に関する国際的動向と  
今後の我が国資源循環政策のあり方について』  
経済産業省 リサイクル推進課課長補佐 梅田 英幸 氏

第93回 9月20日(火) JPI会議室 参加者101名  
『これからのユニバーサルデザイン』  
凸版印刷(株) TICマーケティング本部商品企画部 松澤 由紀子 氏

第94回 12月15日(木) JPI会議室 参加者111名  
『ひらめきの作法とその包装容器への応用の考察』  
(株)アイデアポイント 取締役 兼 CIO 東 信和 氏

## (2) 県別包装研究会

### ①新潟県包装研究会

12月9日(金) 朱鷺メッセ 302 会議室 参加者61名  
『イージーピールフィルムの基礎と使用例』  
ジェイフィルム(株) 製品開発部長 石井 和秀 氏  
『ヒット商品を生み出す視点とツール  
～あなたご自身が「ヒット商品」を生み出すためのヒントのご紹介～』  
(株)博報堂 第3プラニング局シニアストラテジックプラニングディレクター 鶴 真彦 氏

### ②静岡県包装研究会

11月11日(金) JR 静岡ビル パルシェ7F 貸会議室第2・3 参加者64名  
『紙・板紙の製造 基礎から最新事例まで』  
静岡県紙パルプ技術協会 技術等アドバイザー 久保田 道孝 氏  
『「落下試験高さ」が及ぼすコストと環境への影響』  
オリンパス(株) SCM本部物流推進部企画・管理グループ  
包装技術チーム課長 藤井 幸則 氏

## (3) セミナー・シンポジウム、コース

### ①第22回化粧品包装セミナー

11月11日(金) ソラシティカンファレンスセンター RoomC 参加者72名  
「化粧品包装・パッケージの品質設計を考える」  
『化粧品の品質設計について』  
(株)トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 井上 隆 氏  
『紙の基礎知識と化粧品パッケージ用途の紙について』  
五條製紙(株) 執行役員 営業部長 神野 繁樹 氏

『展示物内覧会』

『化粧品と医薬品の個装箱における改ざん防止の開発品事例』

朝日印刷(株) 製品企画部 コンスト課 課長 高松 一志 氏

『化粧品・トイレタリー向けフィルム包装の最新技術動向』

凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター  
開発本部第一開発部 包材開発 2 チーム 係長 大塚 浩之 氏

『化粧品容器用でのエチレン系アイオノマーの活用について』

三井・デュポン ポリケミカル(株) テクニカルセンターモールドコンパウンドグループ  
グループリーダー 伊藤 俊宏 氏

②第12回包装材料セミナー

1月27日(金) CIVI 研修センター秋葉原 405 号室 参加者 131 名

「食品の鮮度保持に関する包装技術とシステムの最新動向」

『食品・飲料等の品質保持に関する包装技術について』

凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター  
開発本部第一開発部包材開発 1 チーム課長 小谷 直己 氏

『レトルト・冷凍・冷蔵における包装材料について』

出光ユニテック(株) 商品開発センター第一開発課課長 北島 誠之 氏  
第二開発課課長 中野 康宏 氏

『ロングライフチルド食品へのレトルト技術の活用とその事例』

(株)日阪製作所 生活産業機器事業本部設計開発部設計開発一課担当主任 堤 隆一 氏

特別講演『食品冷凍技術に関する正しい理解—システムとしての冷凍—』

東京海洋大学 食品品質設計学講座 食品冷凍学研究室教授 鈴木 徹 氏

③平成28年度医薬品包装セミナー

3月10日(金) 長井記念ホール 参加者 114 名

「医薬品の信頼性保証と適正な表示・包装を目指して」

『これからの信頼性保証と GDP (医薬品の物流に関する基準) 』

大隅物流(有) 代表取締役 山川 栄明 氏

『医薬品の薬効を示すピクトグラムの作成とその必要性』

京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター特命教授 高山 明 氏

『メディカルデザイン思考によるパッケージ開発の可能性』

(株)プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏

『医療現場の立場から包装に思うこと』

秀和総合病院 薬剤部部長 日比 徹 氏



④第7回パッケージイノベーションセミナー

- 3月17日(金) TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原ホール 2B 参加者88名
- 「パッケージを進化させる新たな技術や考え方」
- 『バイオミメティクス(生体模倣工学)の包装技術への応用』  
慶應義塾大学 理工学部 物理情報工学科 総合デザイン工学専攻 教授 白鳥 正明 氏
- 『錯視の科学と錯視を応用したパッケージ技術について』  
東京大学 大学院 数理科学研究科 教授 新井 仁之 氏
- 『地域の中小企業初“新・静岡土産”「静岡おみやプロジェクト」』  
B-nest 静岡市産学交流センター 企画・事業スタッフ 井石 知里 氏
- 『日本最大級のパッケージデザインデータベース  
「2000商品 8万人 調査から見るパッケージデザイントレンド」』  
(株)プラグ 代表取締役社長 小川 亮 氏

⑤第4回包装近未来シンポジウム

- 3月29日(水) JPI 会議室 参加者35名
- 「科学技術イノベーションと包装～ロジスティクス・情報技術・新素材の観点から～」
- 『物流を取り巻く環境変化と今後の展望・課題についてートラック輸送を中心にー』  
(株)日通総合研究所 Sales Development Unit Account Officer 上田 実 氏
- 『サプライチェーンにおける情報技術の活用』  
大日本印刷(株) 情報イノベーション事業部 C&Iセンター ソリューションエンジニアリング本部 中野 茂 氏
- 『物流技術イノベーションと物流ビッグデータ活用』
- 「国際輸送における鮮度保持技術/ EPS の可能性」  
郵船ロジスティクス(株) 第一総合開発営業部 物流技術開発営業課課長 細見 源介 氏
- 「サステナブルな物流に向けたロジスティクスビッグデータの活用」  
Symphony Creative Solutions Pte.Ltd. Project manager 原岡 哲也 氏
- 『東洋紡のフィルム事業の環境対応戦略』  
東洋紡(株) 参与 化成品生産技術総括部 総括部長 森重地加男 氏
- 『パネルディスカッション「これからの科学技術イノベーションと包装」』  
(司会進行)  
有田技術士事務所 所長 有田 俊雄 氏
- (パネリスト)
- (株)日通総合研究所 Sales Development Unit Account Officer 上田 実 氏
- 郵船ロジスティクス(株) 第一総合開発営業部 物流技術開発営業課 課長 細見 源介 氏
- Symphony Creative Solutions Pte.Ltd. Project manager 原岡 哲也 氏
- 東洋紡(株) 参与 化成品生産技術総括部 総括部長 森重地加男 氏
- NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏
- 住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

(4) 包装情報ステーション

第58回 4月15日(金) JPI 会議室 参加者82名  
『JIS Z 0130 (包装の環境配慮) 規格説明会のご案内』  
(公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS 原案作成委員会主査 小島 舜治 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS 原案作成委員会委員 金子 武弘 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS 原案作成委員会事務局 平田 成 氏

第59回 3月14日(火) 化学研究評価機構 参加者30名  
『再生ポリプロピレン材料の耐候性評価』  
一般財団法人 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター 東京事業所  
所長補佐 兼 高分子・製品安全試験課長 兼標準化事業室長 佐藤 圭祐 氏

(5) コース

① 第22回包装新人研修コース  
4月21日(木)~22日(金) セミナーハウス『クロスウェーブ』 参加者24名

② 第49回包装基礎コース  
5月11日(水)~13日(金)・19日(木)~20日(金) JPI 会議室 参加者79名

③ 第33回フレキシブルパッケージコース  
11月18日(金) JPI 会議室 参加者76名  
下山田包装技術事務所 所長 下山田 正博 氏

④ 第7回食品包装コース  
11月14日(月)・12月14日(水)・1月25日(水)・2月21日(火)・3月22日(水)  
JPI 会議室 参加者30名  
水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏

⑤ 第42回段ボール包装設計コース  
2月16日(木)~17日(金) JPI 会議室 参加者49名  
レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第1課課長 大谷 昌義 氏  
王子コンテナ(株) 営業本部 CS 推進部包装技術 小林 昌弘 氏

⑥ 第12回緩衝包装設計コース  
1月20日(金) JPI 会議室 参加者34名  
(株)日立システムズ サービス・ソリューション事業統括本部 保守設計開発本部  
ロジスティクスセンタ サービスマネジメントグループ  
高橋 二朗 氏

(6) 2016日本パッケージングフォーラム

10月6日(木) TOKYO PACK2016(東京国際包装展)会場内特設コーナー

東6—セミナーステージ1

参加者166名

『ラサーナ シャンプー・トリートメント詰め替えパック』

(株)ヤマサキ 研究開発部 品質保証課 課長

山上 陽市郎 氏

『検品工程低減・RFIDを利用したリターナブル Box』

(株)サンリツ

小川 紘央 氏

『ワンタッチ組み立て Rakuppa Display』

レンゴ(株) パッケージ部門 SP 営業本部

SP デザインセンター開発チーム

山本 麻依子 氏

(7) 包装懇話会の開催(主催: J P I 包装技術研究所)

①食品・流通包装懇話会	4回開催	登録者数	59名
②医薬品包装懇話会	4回開催	同	126名
③パッケージデザイン懇話会	4回開催	同	38名
④輸送包装懇話会	4回開催	同	59名

## <交流事業>

### 1) 国内事業

(1) 月例見学会(5回開催)

第290回 (株)ロッテ 狭山工場	5月18日(水)	参加者31名
第291回 東京都立産業技術研究センター本部	10月20日(木)	参加者8名
第292回 雪印メグミルク(株) 海老名工場	1月17日(火)	参加者23名
第293回 新日鐵住金(株) 君津工場	2月27日(月)	参加者30名
第294回 化学研究評価機構	3月14日(火)	参加者30名

### 2) 海外事業

(1) 米国包装専門視察団の派遣 11月5日(土)~11日(金) 7日間 参加者13名

米国・シカゴで開催されたパックエクスポ・インターナショナル展の視察を行った。

(2) アジア包装連盟(APF)との連携 12月15日(木)~18日(日) インド・ムンバイ

理事会、総会、アジア包装会議及びアジアスター2016コンテストが開催された。

行事の一つとして実施されたアジアスターコンテストには、アジア9ヶ国から約230点のエントリーがあり、審査の結果、122点(日本の18点と同時に開催した学生対象コンテストの入賞者を含む)が本年のアジアスター賞を獲得した。

(3) 世界包装機構(WPO)との連携 11月14日(月)~16日(水) オーストリア・ウィーン

理事会、世界包装会議及びワールドスター2016コンテストが開催され、18ヶ国の代表が参加した。行事の一つとして実施されたワールドスターコンテストには35ヶ国から

292点のエントリーがあり、審査の結果195点（日本の20点を含む）が本年のワールドスター賞を獲得した。

(4) 国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

第20回IAPRI世界包装会議 6月12日(日)～15日(水) ブラジル・サンパウロ  
英国にある事務局と連携し、発表者及び参加者の募集に対する支援を行った。

(5) 海外からの包装関係者受入れ

TOKYO PACK 2016の開催を機に、中国、台湾、タイ等のアジア諸国・地域をはじめ、スウェーデン、英国、フランス等からの包装関係者を受入れ、交流会や情報交換を行った。

(6) 海外への包装専門家の派遣

食品輸送包装専門家の派遣 3月14日(火)～24日(金) 11日間 ナイジェリア、ガーナ  
JETRO（日本貿易振興機構）の産業育成支援事業の一環として実施され、当会から白倉昌氏（日本包装技術協会技術参与）をナイジェリアとガーナの2ヶ国に派遣し、セミナー講師、コンサルティング等の活動を行った。

<普及啓発事業> （公益目的事業 1）

1) 第40回木下賞

審査選考 4月22日(金) （審査委員長 小野拓邦氏（東京大学名誉教授））

表彰式 6月9日(木) (総会時)

応募件数 22件

受賞件数 8件

A. 研究開発部門：3件

「透明酸素吸収性包材『OXYDEC®』(オキシデック)の開発」

東洋製罐グループホールディングス(株)、東洋製罐(株)

「多様な使用シーンに対応可能なボトルタイプ小麦粉『日清クッキングフラワー』の開発」

日清フーズ(株)、凸版印刷(株)、本多プラス(株)

「プラスチックボトル構造解析仕様の標準化と自動化ソフトウェア(Packaging CAE Manager)」

アルテアエンジニアリング(株)

B. 改善合理化部門：2件

「ユーザビリティを向上させた軽量大型PETボトル(Newペコロジーボトル)の開発」

キリン(株)、キリンビバレッジ(株)

「胴膨れ制御ケース(ダイエットボックス)」

王子コンテナ(株)

C. 新規創出部門：1件

「つめかえやすいユニバーサルデザイン及び環境に配慮した新詰替え容器の開発」

花王(株)、(株)フジシール

☆ 包装技術賞：2件

「『明治北海道十勝フレッシュ100』・減容化及び衛生性・使用性を向上させた口栓付き

スタンディングパウチの開発」

(株)明治、大日本印刷(株)

「新香辛料多層ブローチューブ容器の開発」

ハウス食品グループ本社(株)、東洋製罐(株)、凸版印刷(株)

2) 2016日本パッケージングコンテスト (第38回)

審査選考 6月14日(火) (審査委員長 小野 拓邦(東京大学))

応募 415点 139点が入賞 (内、13点がジャパンスター賞)

経済産業大臣賞「ラサーナ シャンプー・トリートメント詰め替えパック」(株)ヤマサキ

審査委員は18名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。

3) 2016グッドパッケージング展

10月4日(火)～7日(金) 「TOKYO PACK 2016」東6ホール特設会場

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ139点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞126点)の展示を「TOKYO PACK 2016」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて選定理由を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介した他、小冊子として和英併記で作成し国内及び全世界に広報を行った。

## 2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

本年度、最大の事業、東京国際包装展(TOKYO PACK 2016)を10月4日(火)から7日(金)までの4日間、東京ビッグサイトの東1～6全館を使用して開催した。出展社は669企業・団体、内外からの来場者は18万4千余名を記録した。本展は、アジア最大の包装展として定着しており、この機に海外からは約4千名の関係者が来場するため、併催行事として各種イベントを持ち、交流を図っている。特に最近は、中国をはじめとするアジア諸国からの来場者が多く、相互理解を目的とした協力、交流事業を実施しており、今回も日中包装懇談会を開催した。昨今は、東京国際包装展に対するマスコミからの関心が高く、全国紙でも掲載され、大変インパクトある展示会として紹介された。こうしたマスコミによる啓発もあり、近年は、市民団体や消費者団体の参加が増えている。

1) 東京国際包装展(TOKYO PACK 2016)の開催

10月4日(火)～7日(金) 4日間 東京ビッグサイト

実行委員長 : 野沢 高史 氏(王子ホールディングス(株) 専務グループ経営委員)

出展社 : 669企業&団体 ・ 2,556小間

来場者 : 184,677名 (登録者 62,171名)

併催事業 : すべてTOKYO PACK 2016会場内で開催し参加費は無料

### 併催セミナー

1) 基調講演(同時通訳)

参加者: 447名

10月4日(火)

- 「日本のチョコレート市場と包装開発の方向性」  
 ㈱明治 常務執行役員 (J P I 理事) 岸田 一男 氏
- 「『未来のあたりまえをつくる』DNPのモノづくり」  
 ㈱DNPテクノパック 代表取締役社長 宮野 年泰 氏
- 「包装のニーズやトレンドから推測する今後の包装開発の方向」  
 三菱商事パッケージング㈱ 代表取締役社長 (J P I 理事) 安倍 寛信 氏

10月5日(水)

- 「人と環境に優しいモノづくりを目指して」  
 花王㈱ エグゼクティブ・フェロー (J P I 理事) 内海 実 氏
- 「グローバルマーケットを見据えた次世代パッケージ開発」  
 凸版印刷㈱ 取締役 岩瀬 浩 氏
- 「グローバル包装市場の見通し&技術動向とダウグループの成長・イノベーション戦略」  
 ダウ・ケミカル㈱ ダウ・パッケージング&スペシャルティ・  
 プラスチック事業部 副社長 (アジア太平洋地域) マーク・サーリン 氏

- 2) スペシャルゲストセミナー 10月7日(金) 参加者: 226名  
 「ビジネス成功のため伸ばすべき脳力とは？」  
 ㈱人間性脳科学研究所 所長 澤口 俊之 氏

- 3) グローバルパッケージングセミナー (逐次通訳) 10月6日(木) 参加者: 261名  
 「P&Gにおける容器開発の現状と将来」  
 プロクター・アンド・ギャンブル・インターナショナル・オペレーションズ  
 研究開発本部パッケージ開発部門モデリング&シミュレーショングループ  
 シニアサイエンティスト 山根 訓 氏
- 「パッケージデザインとテクノロジーによる消費者の好意度向上」  
 コカ・コーラサービス ヨーロッパ、アフリカ、中東地域  
 R&Dパッケージ開発 ディレクター ケビン ハイド 氏

4) 医薬品包装セミナー

- 10月4日(火) 参加者: 360名  
 「医療用医薬品における使用の安全確保と情報提供の現状と課題」  
 日本製薬団体連合会 安全性委員会 安全使用対策検討部会長 大澤 總弘 氏
- 10月6日(木)  
 「セルフメディケーション推進のための我々の取り組み」  
 興和㈱ 代表取締役社長/日本一般用医薬品連合会 会長 三輪 芳弘 氏
- 10月7日(金)  
 「医薬品の包装に求められるものとは」  
 一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長 土屋 文人 氏

- 5) パッケージデザインセミナー 10月4日(火)～7日(金) 参加者：861名  
「デザインって？そんなに重要なの？そんな素朴な疑問に1から答える」  
パッケージデザインに関わる基調講演を含む全12セッションを開催。
- 6) 出展社による最新包装セミナー 10月4日(火)～7日(金) 参加者：1616名  
展示・実演だけでは伝えきれない、さらに詳しい出展社の新製品・  
技術・サービス等の情報について、全24セッションのセミナーを開催。
- 7) テクニカルセミナー 10月4日(火)～7日(金) 参加者：761名  
実務にすぐ役立つ包装基礎知識が習得できる全11セッションのセミナーを開催。
- 8) 2016木下賞受賞フォーラム 10月5日(水) 参加者：291名  
2016(第40回)木下賞の厳正審査を通過し入賞した各受賞者から、その開発経緯、  
概要、効果等について紹介頂いた。
- 9) スウェーデン包装セミナー 10月6日(木) 参加者：170名  
「持続可能な包装ソリューション」
- 10) 物流エンジニアリングで国内産業の持続的成長へ 10月4日(火)・7日(金)  
「将来の高齢化・人手不足に対するソリューション」 参加者：119名

#### 企画展示

- 1) 医薬品包装コミュニティゾーン (出展8社 協力2団体・4大学)  
医療過誤防止包装(付加価値・機能性包装)をテーマとした展示ゾーンを、  
医薬品の業界団体や大学等とも提携し、法規情報や最新のトレンドと共に紹介した。
- 2) パッケージデザインパビリオン (出展28社・団体)  
デザイナーと企業との出会いの場をテーマに、付加価値のある新しい  
パッケージデザインの発見、販売力向上のためのヒントを一堂に紹介した。  
知的財産 無料相談コーナー：(協力)日本弁理士会
- 3) 集中企画展示  
「ここだけは押さえない！包装開発のチェックポイント！」  
飲料、医療、医薬品、菓子、加工食品、生鮮食品の分野にフォーカスし、包装開発に必要な  
不可欠なポイントを分かり易く解説した。
- 4) 日本MH協会創立60周年記念パビリオン

会員各社による出展ブースをはじめ、物流センターにおける近未来のピッキング、デバンニングの姿について紹介した。

5) 2016 木下賞受賞作品展

2016 (第40回) 木下賞の厳正な審査を通過し入賞した作品を展示した。

6) 包装関連業界誌紹介コーナー

包装関連業界各社の業界新聞ならびに見本誌を一堂に集め、無償配布のワゴンコーナーを開設した。

### 展示会広報

1) 世界主要各国・地域の国際包装展への参加

コリア・パック (韓国・4月)、台北パック (台湾・6月)、プロパック・チャイナ (中国・7月) に出展社として参加し、広報活動を行った。

2) 暮らしの包装商品展2017の開催準備

会期：平成29年10月19日(木)・20日(金) 2日間 11:00~18:00 (予定)

会場：KITTE 1階アトリウム・地下1階パフォーマンスゾーン

東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー

後援：経済産業省 (申請予定)

出展者募集案内状を作成し関係先へ配布

### 3. 調査研究事業 (公益目的事業 3)

ISO/TC122 (包装) は、平成28年度で4件、現在までに80件の規格を発行しており、Pメンバー31ヶ国、Oメンバー36ヶ国で活動され、日本が議長及び、幹事国として11年間務めている。

昨年度から、国際議長に椎名武夫氏 (千葉大学大学院教授) が就任され2年目である。前年度からの継続案件を含め、活動中のプロジェクトは、12件である。それぞれの案件につき、幹事国として遅滞のないよう対応を行った。また、国際会議は、計3回実施した。

TC122に関する国内審議では、①包装—アクセシブルデザインの情報と表示 (ISO19809) 及び取扱いと操作 (ISO22015)、②包装貨物試験法 (ISO4180)、③垂直ランダム振動試験法 (ISO13355)、④危険物輸送包装 ISO9000 適用の手引き (ISO16106)、通い剛性プラスチック容器 (ISO18616)、プラスチックドラム第3部：プラグ/栓閉止システムの改定 (ISO20848-3) 等を継続事業として実施した。

また、JIS制定・改正に関する調査研究では、①ISO17480 (開封性) に伴う制定 (一部JISS0022:2001)、②ISO780に伴う改定 (JISZ0150:2001)



は、それぞれの委員会のもとで審議し、申し出に向けて活動を進めている。また、③試験容器の記号表示方法（J I S Z 0 2 0 1）の改正、④包装貨物・落下試験法（J I S Z 0 2 0 2）の改正は、それぞれ委員会のもとで審議し、申し出を行っている。

1) I S O / T C 1 2 2 (包装)の国際幹事国(事務局)としての活動

- (1) 前年度からの継続案件の国際規格案、委員会案などの対応を行った。
- (2) 日本提案で取り組んでいる I S O 1 9 8 0 9 「包装—アクセシブルデザインの情報と表示」は、D I S 承認まで進捗した。
- (3) 日本からの新規提案で取り組むこととなった I S O 2 2 0 1 5 「包装—アクセシブルデザインの取扱いと操作」は、N P 承認まで進捗した。
- (4) 日本からの提案で取り組むこととなった I S O 1 3 3 5 5 「垂直ランダム振動試験法」は、2 0 1 6 年に発行した。
- (5) 日本提案で取り組んでいる I S O 4 1 8 0 は、N P 承認まで進捗した。
- (6) I S O 2 1 0 6 7 - 1 「包装用語」は、2 0 1 6 年に発行した。

2) I S O / T C 1 2 2 (包装)の国内審議団体としての調査研究及び活動

I S O 中央事務局、T C 1 2 2、T C 1 2 2 / S C 3 及び S C 4 の各国際幹事、各傘下の W G 事務局から配信される各種の投票案件及び、会議開催などの案内、要請等に対し、国内対策委員会を編成し、会議、書面審議、海外派遣などにより対応した。主要な案件の概要は以下の通りである。

- (1) 包装—アクセシブルデザインの情報と表示(I S O 1 9 8 0 9)の国際規格化
- (2) 包装—アクセシブルデザインの取扱いと操作(I S O 2 2 0 1 5)の国際規格化
- (3) 垂直ランダム振動試験法に関する国際標準 I S O 1 3 3 5 5 改正の国際規格化
- (4) 包装貨物性能評価に関する国際標準 I S O 4 1 8 0 改正の国際規格化
- (5) 危険物輸送包装 I S O 9 0 0 0 適用の手引きの国際標準 I S O 1 6 1 0 6 の国際規格化
- (6) プラスチックドラム第3部：プラグ/栓閉止システムの国際標準 I S O 2 0 8 4 8 - 3 の国際規格化（ドイツ提案）
- (7) 通い剛性プラスチック容器の国際標準 I S O 1 8 6 1 6 の国際規格開発（韓国提案）

3) J I S 制定・改正に関する調査研究

- (1) アクセシブルデザイン—開封性—に関する J I S の制定  
本規格は、I S O 1 7 4 8 0 「開封性」(2015)の J I S 化を審議し、2 0 1 7 年度に申し出を終了する予定で進捗している。
- (2) 物流包装用荷扱い指示シンボルマークに関する J I S Z 0 1 5 0 の改正  
本規格は、I S O 7 8 0 「物流包装用荷扱い指示シンボルマーク」(2016)の J I S 化を審議し、2 0 1 7 年度に申し出を終了する予定で進捗している。
- (3) 試験容器の記号表示方法に関する J I S Z 0 2 0 1 の改正  
本改正は、既に申し出済みで、2 0 1 7 年度内には発行される見込みである。

(4) 包装貨物・落下試験法に関する J I S Z 0 2 0 2 の改正

本改正は、J I S Z 0 2 0 0 との不整合修正などで、既に申し出済みで、2 0 1 7 年度内には発行される見込みである。

上記 ISO 及び JIS の調査研究は政府関連機関からの委託事業である。

4) 平成 2 7 年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	5兆7,889億円	(前年 5兆7,051億・前年比 101.5%)
包装関連機械生産金額	4,648億円	(同 4,513億・同 103.0%)
合計金額	6兆2,537億円	(同 6兆1,564億・同 101.6%)

4. 出版関連事業 (収益事業)

- 1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊(3月号で通巻647号)
- 2) 「包装…知っとく知識」改訂版 10月
- 3) 「Q&A 容器包装規制基準の手引き」誌の編纂
- 4) 「包装技術便覧」第5版発行準備

第2 諸 会 議

- 1) 理事会 5月19日(木)、6月9日(木)、3月16日(木)
- 2) 常務理事会 5月19日(木)、9月15日(木)、11月17日(木)、3月17日(金)
- 3) 本支部連絡会 4月19日(火)、11月28日(月)
- 4) その他諸会議 各種事業の企画・運営の目的にて逐次開催した

行 事・そ の 他

- 1) 行事
  - (1) 第5回定時総会(通期では第54回) 6月9日(木) 如水会館
  - (2) 2017年包装界合同新年会 1月11日(水) 椿山荘 参加者711名
- 2) その他
  - (1) インターネットによる最新情報の提供
  - (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 (メルマガ配信回数: 12回)
  - (3) J P I 関連団体との連絡提携  
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会  
日本包装学会、等との連携
  - (4) 消費者団体、市民団体等との連携

### 第3 組織

会員動勢（平成28年4月1日～平成29年3月31日）は、次の通りである。

1.法人会員	平成28年度期首	平成28年度		
	990社	入会数 65社	退会数 38社	現在数 1017社
2.個人会員	平成28年度期首	平成28年度		
	173名	入会数 14名	退会数 27名	現在数 160名
3.特別会員	平成28年度期首	平成28年度		
	20名	入会数 0	退会数 1名	現在数 19名

#### <会員登録動勢一覧>

	平成28年 4月1日		本年度		平成28年度 合計
			入会	退会	
会員総数	1183		79	66	1196
法人	990社		65社	38社	1017社
(口数)	(1017)		(65)	(38)	(1044)
個人	173名		14名	27名	160名
特別会員	20名		0	1名	19名
登録員数	法人	990社 2677名	65社 146名	38社 84名	1017社 2739名
	個人	173名	14名	27名	160名
	合計	2850名	160名	111名	2899名
関東支部	法人	1574名	85名	45名	1614名
	個人	91名	7名	14名	84名
関西支部	法人	546名	37名	10名	573名
	個人	34名	2名	6名	30名
中部支部	法人	385名	19名	24名	380名
	個人	24名	4名	5名	23名
西日本支部	法人	86名	4名	3名	87名
	個人	6名	1名	0名	7名
北海道支部	法人	48名	0名	1名	47名
	個人	2名	0名	0名	2名
東北支部	法人	38名	1名	1名	38名
	個人	16名	0名	2名	14名

# 支部事業活動報告

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

## ◎ 北海道支部

### 第1. 事業

#### <研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第51期包装管理士講座(札幌会場) 北海道経済センター  
6月21日(火)～23日(木) 7月12日(火)～15日(金)  
受講者15名(生活者包装5名、輸送包装10名)
- 2) 講演会
  - (1) 定時特別講演 6月22日(水) ニューオータニイン札幌 参加者23名  
「働かないアリに意義がある」  
北海道大学大学院農学研究院 生物生態・体系学分野 准教授講師 長谷川 英祐 氏
  - (2) 包装基礎セミナー 7月20日(水) 札幌すみれホテル 参加者16名  
「JIS Z 0130(包装の環境配慮)規格説明会」  
(公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS原案作成委員会主査 小島 舜治 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会委員 金子 武弘 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会事務局 平田 成 氏
  - (3) 第51期包装管理士レポート発表会(日本包装管理士会北海道支部と共催)  
11月10日(木) ニューオータニイン札幌 参加者31名
  - (4) 包装懇話会(日本包装管理士会北海道支部と共催)  
11月10日(木) ニューオータニイン札幌 参加者45名  
「包装商品化で考えること」  
HIRO包装設計研究所 所長 東京聖栄大学 食品学科特任教授 佐々木 敬卓 氏
  - (5) 新春研究会(日本包装管理士会北海道支部と共催)  
1月25日(水) ニューオータニイン札幌 参加者53名  
「ヒトから考えるパッケージ・イノベーション ～ヒトの視覚および情報処理特性とパッケージ～」  
大日本印刷(株) 包装事業部マーケティング企画本部マーケティング部長 安田 尚司 氏

#### <交流事業>

- 1) 企業見学研究会(北海道生産性本部と共催) 10月12日(水) 参加者35名  
見学先 ①南早来変電所大型蓄電システム実証事業施設(勇払郡安平町)  
②(株)Jファーム苫小牧工場(苫小牧市)  
③日本CCS調査(株)苫小牧CCS実証センター(苫小牧市)

### 第2. 諸会議

- 1) 第91回支部運営委員会 5月26日(木) 札幌すみれホテル
- 2) 第92回支部運営委員会 12月13日(火) 札幌すみれホテル

### その他

- 1) 支部定時総会(第49回) 6月22日(水) ニューオータニイン札幌
- 2) JPI北海道支部・IPP北海道支部合同親睦会 7月27日(水) 参加者22名

場 所：キリンビール園

3) 第51期包装管理士合格証書授与式

11月10日(木) ニューオータニイン札幌 参加者30名  
合格者 15名 (生活者包装5名、輸送包装10名)

4) 2017年賀詞交歓会 (日本包装管理士会北海道支部と共催)

1月25日(水) ニューオータニイン札幌 参加者35名

◎ 東北支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第51期包装管理士講座 (仙台会場) 仙台商工会議所会館他

6月22日(水)~24日(金) 7月5日(火)~8日(金)

受講者15名 (輸送包装10名・生活者包装5名)

2) 講演会

(1) 特別講演会 (東北生産性本部・東北IE協会共催)

6月21日(火) 仙台商工会議所会館 参加者62名

「東日本大震災5年経過後の東北経済産業の現状」

東北経済産業局長 守谷 憲弘 氏

(2) JIS Z 0130 (包装の環境配慮) 規格説明会

7月21日(木) 仙台商工会議所会館 参加者14名

(公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS原案作成委員会主査 小島 舜治 氏

(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会委員 金子 武弘 氏

(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会事務局 平田 成 氏

(3) 東北支部包装技術研究発表大会 10月24日(月) 仙台商工会議所会館 参加者20名

「ラミネート三方シール袋の餅用包装のフィルム構成提案による包装改善」

福助工業(株) 宮城 慎太郎 氏

「玄関ドアの緩衝材見直しによる包装改善」

YKK AP(株) 吉川 赳人 氏

「発泡スチロール製ドラム缶専用蓋の開発」

トーヨー工業(株) 加賀 幸夫 氏

「玄関ドアのコルパットを用いた包装改善」

(株)タナックス 加藤 博 氏

「横帯印刷を採用した段ボールで店頭ディスプレイ出来る箱の開発」

(株)トーモク 工藤 敦司 氏

(4) 新年記念講演会 1月11日(水) 江陽グランドホテル 参加者53名

「地域製品のパッケージデザイン、その特異性と対処法」

アウラ ブランド デザイン クリエイティブディレクター 本多 英二 氏

## 第2. 諸会議

- |                |           |           |       |
|----------------|-----------|-----------|-------|
| (1) 第1回支部運営委員会 | 6月6日(月)   | 仙台商工会議所会館 | 参加者7名 |
| (2) 第2回支部運営委員会 | 10月24日(月) | 仙台商工会議所会館 | 参加者6名 |

## その他

- |                        |           |           |                  |
|------------------------|-----------|-----------|------------------|
| (1) 支部定時総会             | 6月21日(火)  | 仙台商工会議所会館 | 参加者62名           |
| (2) 第51期包装管理士講座合格証書授与式 | 10月24日(月) | 仙台商工会議所会館 | 参加者19名<br>合格者14名 |
| (3) 2017年新年名刺交換会       | 1月11日(水)  | 江陽グランドホテル | 参加者53名           |

## ◎ 中部支部

### 第1. 事業

#### <研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第51期包装管理士講座(名古屋会場) 愛知県産業労働センター  
6月15日(水)~17日(金) 6月28日(火)~7月1日(金) 7月5日(火)~7日(木)  
受講者68名(輸送包装コース34名、生活者包装コース34名)
- 2) 講演会
  - (1) 包装技術研究例会 6月23日(木) 愛知県産業労働センター 参加者52名  
「JIS Z 0130(包装の環境配慮)規格について」  
(公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS原案作成委員会主査 小島 舜治氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会委員 金子 武弘氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会事務局 平田 成氏
  - (2) 輸送包装研究例会 7月21日(木) 愛知県産業労働センター 参加者87名  
『段ボール箱の圧縮強度劣化要因と  
アジアの陸上輸送における輸送環境の評』  
「段ボール箱の圧縮強度劣化要因 ~段潰れと段ボール含水率~」  
レンゴ(株) 開発本部 包装技術部 包装評価センター課長 中尾 善和氏  
「アジアの陸上輸送における地理情報を活用した輸送環境の評価」  
東京海洋大学学術研究院流通情報工学部門准教授 渡部 大輔氏
  - (3) 生活者包装研究例会 9月14日(水) 愛知県産業労働センター 参加者58名  
『「ヒューマンセンタードマーケティング」および  
高齢社会の中での「わかりやすい」デザインについて』  
「生活者のライフスタイル視点からモノづくりを探る」  
大日本印刷(株) 包装事業部 市場拡大促進本部部長 高橋 直樹氏  
「わかりやすいデザインとは~高齢社会の中で~」  
(一社)ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 事務局長 三村 一夫氏
  - (4) 包装資材研究例会 10月19日(水) 愛知県産業労働センター 参加者70名  
『2016日本パッケージングコンテスト入賞作品と機能性フィルムについて』  
「航空機シートの段ボール包装」

- 中津川包装工業(株) 営業本部販売推進部 梶田 大輔 氏  
「こだわりの商品を効果的に魅せ、しっかり守る包装技術の役割  
～電化製品包装材開発事例より～」
- 笹徳印刷(株) PCCグループ設計1チームチームリーダー 石井 吉 氏  
「ラサーナ シャンプー・トリートメント 詰め替えパック」
- (株)ヤマサキ 研究開発部 品質保証課課長 山上 陽市郎 氏  
「包装用機能性プラスチックフィルムの特長と利用」
- (株)アイセロ マーケティング本部 第2ビジネスユニット  
プロダクトマネージャー 工藤 洋平 氏  
「無孔通気性フィルム『PORO FRESH®』による鮮度・品質保持包装の原理」
- フタムラ化学(株) 中部統括開発グループ グループリーダー 花市 岳 氏
- (5) 包装技術講習会 11月16日(水) 愛知県産業労働センター 参加者 98名  
『コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策および  
包装貨物の振動試験の現状と最近の取り組みについて』  
「コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策」
- (株)MTI 営業グループユニット長 高橋 寿和 氏  
「包装貨物の振動試験の現状と最近の取り組み」
- (地独)大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科主任研究員 津田 和城 氏
- (6) 定時記念講演会 6月10日(金) ホテルキャッスルプラザ 参加者 71名  
「そっくりな親子と似ていない親子、その分かれ目は」  
～人類の成長と繁栄はその多様性のなかにある～
- 東京大学大学院 総合文化研究科 教授 太田 邦史 氏
- (7) 第56回包装技術研究大会中部大会  
2月21日(火) 愛知県産業労働センター 参加者 97名  
「モバイル製品の輸送時間問題解析について」
- ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)  
包装技術部設計2課 花岡 洋志 氏  
「産業用ロボット梱包の開発」
- (株)デンソーウェーブ 制御システム事業部技術企画部技術管理室長 西山 典孝 氏  
「輸出品における梱包仕様の見直しと積載効率向上への取り組み」
- 日東電工(株) 豊橋事業所 生産管理部CS管理課 竹原 宏美 氏  
「コーヒー容器包装における改ざん防止機能の改善」
- 日本トールカンパニー(株) 包装開発センター関西包装技術グループ 赤田 奈々 氏  
「実輸送下における『加速&ブレーキ』時の製品への影響力と  
試験の必要性について」
- アイデックス(株) 営業技術部係長 千田 詠介 氏  
「段ボールの原紙・板・箱の強度に関する研究」
- 王子コンテナ(株) 技術本部開発部開発室主幹 下村 充 氏  
「損害防止に使用する機材」
- 損害保険ジャパン日本興亜(株) 海上保険金サービス室  
物流ロスプリベンション課副長 生貝 友哉 氏
- (8) 第30回包装研究懇話会 3月7日(火) 参加者20名  
平成29年施設見学：MIM (ミツカンミュージアム)

### 3) セミナー

#### (1) 第26回包装設計の基礎講座

5月19(木)、20日(金) 愛知県技術開発交流センター 受講者46名  
「包装の社会的役割・適性包装に向けての京セラの包装設計の考え方」

京セラドキュメントソリューションズ(株)

プリンター統轄技術部第25技術部責任者 瀬戸上 裕 氏  
「段ボールの構造と原紙種類・段ボール箱の規格と製造工程・箱の圧縮強さの評価」  
「段ボール箱の設計手順・段ボール箱の設計要因と劣化要因・箱圧縮強さの算出法」  
「段ボール箱の製作」

ダイナパック(株) 開発本部製品開発部部長代理 澤田 幸美 氏  
「機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制」  
(株)アイセロ マーケティング本部プロダクトマネージャー 工藤 洋平 氏  
「緩衝包装の目的・緩衝材の種類・緩衝性能と緩衝設計技法」

「包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室主任研究員 佐藤 幹彦 氏  
「包装試験関連施設(衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など)の見学」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター環境材料室 物流技術担当  
「ユニットロードシステムに適応した集合包装の考え方」

日東電工(株) 基盤機能材料事業部門専門機能本部環境安全本部 八東 伸明 氏  
「ロジスティクスの中での包装の役割・陸海空の輸送形態の特性と包装改善」

NGKロジスティクス(株) 業務部副部長 矢島 泰人 氏

#### <交流事業>

(1) 見学会 10月13日(木) 参加者34名

- ①三菱電機(株) 稲沢製作所
- ②三菱電機ロジスティクス(株) 昇降機国際物流センター
- ③三菱電機ロジスティクス(株) 包装技術センター

#### 第2. 諸会議

- (1) 第53回支部役員会 5月25日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- (2) 第53回支部定時総会 6月10日(金) ホテルキャッスルプラザ
- (3) 第1回支部運営委員会 9月9日(金) ホテルキャッスルプラザ
- (4) 第2回支部運営委員会 3月10日(金) ホテルキャッスルプラザ
- (5) 第52期包装管理士講座講師打合せ 2月17日(金) ホテルキャッスルプラザ

#### その他

- (1) 第53回定時会員交流会 6月10日(金) ホテルキャッスルプラザ 参加者71名
- (2) 第51期包装管理士合格証書授与式 10月28日(金) メルパルク NAGOYA 参加者86名
- (3) 中部包装界新年賀詞交歓会 1月17日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者157名



◎ 関西支部

第1 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業>

1) 第51期包装管理士講座 6月28日(火)~7月1日(金) 7月5(火)~8日(金)

リーガロイヤルNCB / 大阪府立産業技術総合研究所

受講者: 81名 (輸送包装コース: 34名 生活者包装コース: 47名)

2) 講演会

(1) 会員フォーラム

- |                                      |  |         |
|--------------------------------------|--|---------|
| ①4月13日(水)                            | NCBスカイルーム  | 参加者50名  |
| 「期待を包む」                              |  |         |
| トライポッド・デザイン(株)                       | CEO  | 中川 聰 氏  |
| ②6月22日(水)                            | NCBスカイルーム  | 参加者59名  |
| 「JIS Z 0130(包装の環境配慮)規格説明会」           |  |         |
| (公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS 原案作成委員会主査 |  | 小島 舜治 氏 |
| (公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS 原案作成委員会委員   |  | 金子 武弘 氏 |
| (公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS 原案作成委員会事務局  |  | 平田 成 氏  |
| ③7月20日(水)                            | NCBスカイルーム  | 参加者76名  |
| 「エパールを中心としたバリア包材の開発動向」               |  |         |
| (株)クラレ                               | エパール樹脂販売部技術サービスグループリーダー                              | 林 七歩才 氏 |
| ④8月24日(水)                            | NCBスカイルーム  | 参加者53名  |
| 「脇役から主役へ~段ボールの可能性を探る~」               |  |         |
| K工房                                  | 主宰   | 加藤 幸吉 氏 |
| ⑤9月14日(水)                            | NCBスカイルーム  | 参加者35名  |
| 「食品工程におけるロボット導入事例」                   |  |         |
| ABB(株)                               | オートメーション・モーション事業本部ロボティクス事業部<br>ロボット&アプリケーション部        | 菅井 康介 氏 |
| ⑥10月19日(水)                           | NCBスカイルーム  | 参加者47名  |
| 「RFIDソリューションのご案内 <生産・物流、模倣品対策>」      |  |         |
| 凸版印刷(株)                              | 情報コミュニケーション事業本部セキュアビジネスセンター<br>セキュアビジネス推進本部セキュア販売部部长 | 藤田 憲祐 氏 |
| ⑦12月14日(水)                           | NCBスカイルーム  | 参加者51名  |
| 「海外のPETボトル最新事情~K2016における最新情報の紹介~」    |  |         |
| (株)ティーバイインターナショナル                    | 代表取締役  | 松田 晃一 氏 |
| ⑧2月15日(水)                            | TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋                                 | 参加者64名  |
| 「安売りからの脱却!~パッケージマーケティングとは?~」         |  |         |
| (株)パッケージ松浦                           | パッケージマーケットター   | 松浦 陽司 氏 |

- (2) 新春記念講演会 1月17日(火) 大阪倶楽部 参加者223名  
「カリスマ添乗員本音で語る、ほんまものサービスはこれや！」  
～全てはお客様の笑顔のために～  
(株)日本旅行 おもしろ旅企画ヒラタ屋代表 平田 進也 氏
- (3) 生活者包装研究懇談会
- ①6月8日(水) 参加者69名  
見学会：塩野義製薬(株) 摂津工場 / キリンビール(株) 滋賀工場
- ②9月21日(水) NCBスカイルーム 参加者61名  
「触動作センサーを活用した“使いやすい”パッケージの開発」  
大日本印刷(株) 包装事業部マーケティング企画本部マーケティング部長 安田 尚司 氏  
「日本における模造医薬品の流通の現状」  
ファイザー・ホールディングズ(合) グローバル・セキュリティ部長 池田 哲也 氏
- ③12月7日(水) NCBスカイルーム 参加者54名  
「3Dプリンターを活用したプラスチック製ミルク付きキャップの開発」  
「“ねりスパイス”シリーズの包材開発」  
ハウス食品グループ本社(株) 中央研究所容器包装開発部 田中 郁也 氏  
チーフ研究員 齋藤 等 氏  
「認知症高齢者の服薬支援と実態」  
メディسنショップ蘇我薬局 管理薬剤師 雑賀 匡史 氏
- ④2月22日(水) TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋 参加者59名  
「GSKにおけるCRSF包装への取り組みと展開について」  
グラクソ・スミスクライン(株) GMSジャパン  
Packaging Lifecycle Management 桑野 浩明 氏  
「ハラル認証基準の最新動向と包装資材の対応の現状」  
(株)フードテクニカル・ラボ 代表取締役 伊藤 健 氏

### 3) コース

- (1) 第43回段ボール包装設計実習コース 参加者30名  
1月26日(木)・3月9日(木) TKPガーデンシティPREMIUM心斎橋  
1月27日(金)・3月10日(金) アイロップ(株)  
「包装材料の中の段ボール・段ボール原紙・箱形式・製造・段ボール箱の特性  
・段ボール包装設計・包装貨物試験・今後の包装設計」  
レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課部長代理 熊谷 知久 氏  
「寸法の算出」「試作実習」「試作品の圧縮試験および落下試験」「講評と質疑応答」  
アイロップ(株) 包装技術部サブマネジャー 吉木 宏 氏  
アイロップ(株) 包装技術部リーダー 脇田 明和 氏
- (2) 第10回緩衝包装設計実践コース 10月26日(水) 大阪府立産業技術総合研究所 参加者12名  
「緩衝材についての基礎知識」「緩衝設計のための力学の基礎」「緩衝設計とは」

大阪府立産業技術総合研究所 製品信頼性科主任研究員 津田 和城 氏  
「発泡プラスチック緩衝材の設計手順」「付属品と緩衝材のレイアウト検討」「グループ演習」  
「落下試験・衝撃値測定」「各種評価試験設備の見学」  
シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏

(3)第23回包装基礎コース 5月18日(水)～20日(金) NCBスカイルーム 参加者41名

「包装概論」 (公社)日本包装技術協会 理事・事務局長 園山 洋一  
「板紙・紙器」 大日本印刷(株) 包装事業部市場拡大促進本部 飯島 淳 氏  
「段ボール」 レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課課長 杉田 裕紀 氏  
「金属缶」 東洋製罐(株) 環境・品質保証本部品質保証部茨木品質課長 上床 博明 氏  
「プラスチック容器」東洋製罐(株) 環境・品質保証本部品質保証部大阪品質課長 鎌田 裕一 氏  
「プラスチックフィルム」ユニチカ(株) フィルム事業部フィルム品質保証部長 中野 功 氏  
「ガラス容器」 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部  
技術開発部型成形チームリーダー 前田 泰志 氏  
「輸送包装技法」 シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏  
「生活者包装技法」 日本包装管理士会 関西支部長 桃川 公一 氏

## <交流事業>

### 1) 会員フォーラム見学会

①11月16日(水) 参加者40名  
見学先：サントリーワールドリサーチセンター 「幸せの青い花を飾る」  
サントリーグローバルイノベーションセンター上席研究員 田中 良和 氏  
②3月8日(水) 参加者40名  
見学先：(株)エフピコ 関西ピッキングセンター

## 第2 諸会議

(1)支部役員会 5月24日(火) ホテル日航大阪 参加者20名  
(2)支部運営委員会 6月10日(金) イマイビル 参加者13名  
12月14日(水) NCBスカイルーム 参加者17名  
3月3日(金) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者18名  
(3)生活者包装研究懇談会実行委員会 8月2日(火) イマイビル 参加者7名  
3月1日(水) イマイビル 参加者8名

## その他

(1)支部定時総会 5月24日(火) ホテル日航大阪 参加者90名  
(2)新春会員交流会 1月17日(火) 大阪倶楽部 参加者223名  
(3)第51期包装管理士合格証書授与式  
10月21日(金) リーガロイヤルNCB 参加者52名

## ◎ 西日本支部

### 第1 事業

#### 1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

##### <研修、育成事業>

##### 1) 第51期包装管理士講座（福岡会場）

6月15日(水)～17日(金) 7月5日(火)～8日(金) IPシティホテル福岡  
受講者39名（生活者包装19名、輸送包装20名）

##### 2) 講習会

- (1) 包装基礎セミナー 7月15日(金) IPシティホテル福岡 参加者10名  
「JIS Z 0130（包装の環境配慮）規格説明会」  
(公社)日本包装技術協会 技術参与 工学博士 JIS原案作成委員会主査 小島 舜治 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会委員 金子 武弘 氏  
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所 JIS原案作成委員会事務局 平田 成 氏

- (2) 2016包装事例研究発表会 11月2日(水) IPシティホテル福岡 参加者37名  
全日本包装技術研究大会発表者より3名・51期優秀包装論文より3名

- (3) 輸送包装研究会 3月23日(木) IPシティホテル福岡 参加者17名  
「世界の中でのASEAN市場の位置づけと今後の方向」  
株東洋紡パッケージング・プラン・サービス 教育情報部主任 羽馬 友子 氏  
「資源循環ハンドブック2016法制度と3Rの動向」  
経済産業省九州経済産業局 資源エネルギー環境部環境・リサイクル課 角井 秀男 氏

##### <交流事業>

- (1) 見学会（協賛：IPP支部合同・福岡倉庫協会） 9月28日(水) 参加者25名  
西日本新聞社 制作センター / アサヒビール 博多工場
- (2) ①企業見学研究会（協賛：日本MH協会） 10月28日(金) 参加者24名  
三菱電機ロジスティクス 九州ロジスティクスセンター
- ②企業見学研究会（協賛：IPP支部合同・福岡倉庫協会）2月15日(水) 参加者23名  
味のマルタイ 福岡工場

#### 2. 諸 会 議

- (1) 平成28年度西日本支部本部総会説明会 7月15日(金) IPシティホテル福岡

#### その他

- (1) 合同親睦会（JPI西日本支部 IPP西日本支部 福岡倉庫協会）  
9月28日(水) アサヒビール園 参加者20名
- (2) 第51期包装管理士合格証書授与式 11月2日(水) IPシティホテル福岡 参加者37名